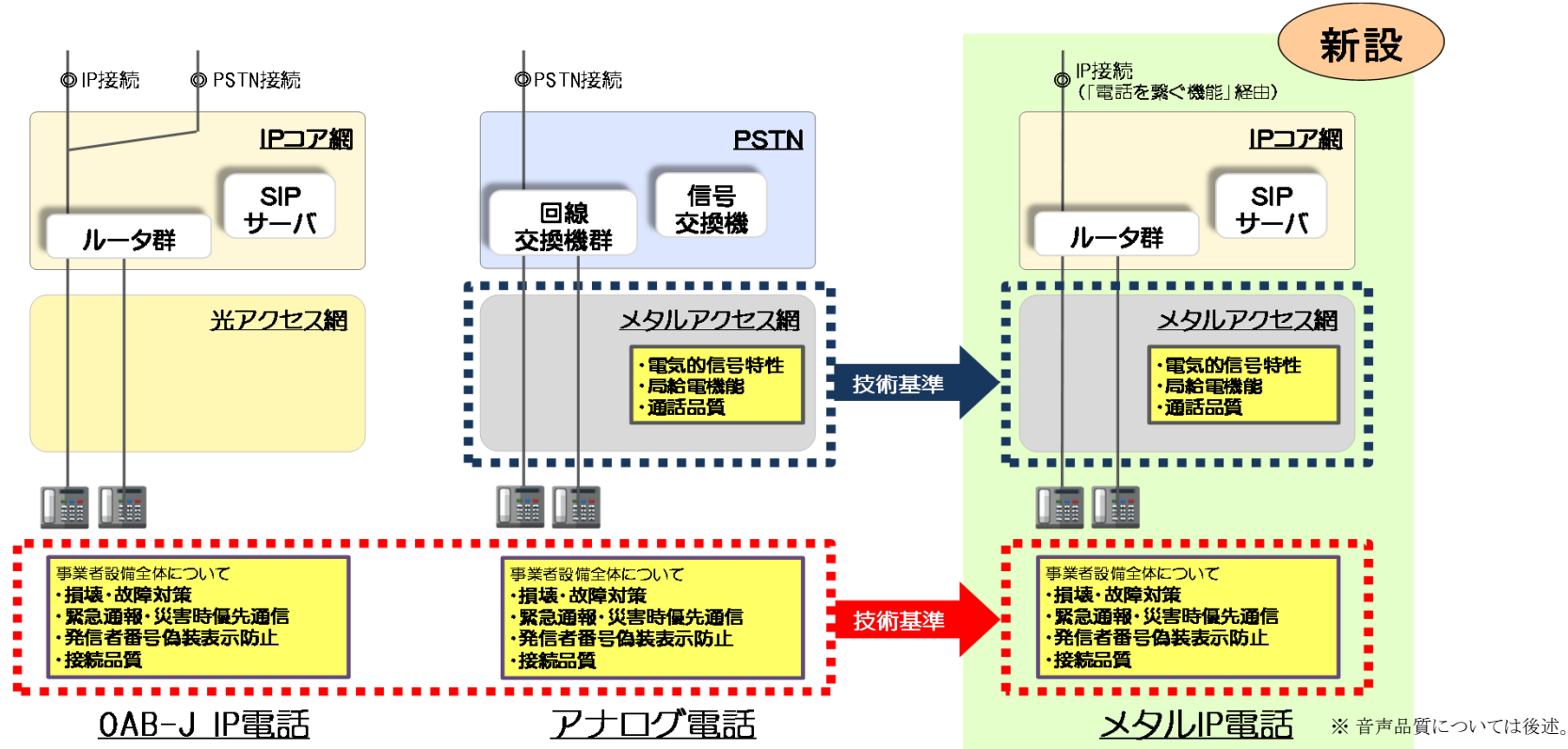


IP網への移行に向けた検討課題について

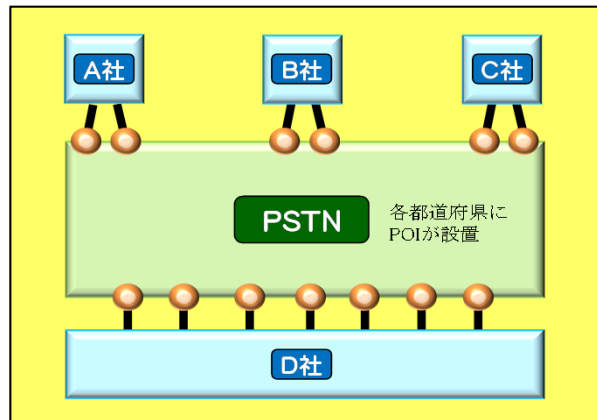
平成28年12月13日

IPネットワーク設備委員会
事務局

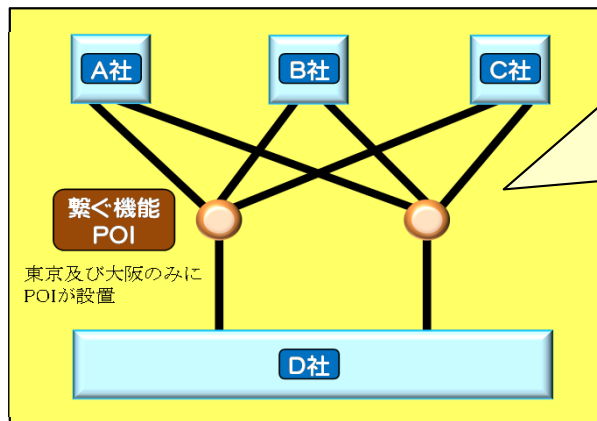
- PSTNからIP網への移行に伴い導入されるメタルIP電話に係る技術基準については、以下のような考え方で検討を進めることとしてはどうか。
 - ・ メタルIP電話においては、メタルアクセス網が維持されアナログ電話端末が接続されることから、端末の継続利用性を担保するため、現在のアナログ電話に課している技術基準のうちメタルアクセス網の電気的特性や信号方式等に係る技術基準(事業用電気通信設備規則27条～34条)を課することが適当ではないか。
 - ・ 現在のアナログ電話及びOAB-J IP電話と同等の信頼性をメタルIP電話においても確保する観点から、これらの電話用設備に課している損壊・故障対策(同4条～15条の4)、緊急通報・災害時優先通信(同35条の2、35条の2の2)、発信者番号偽装表示防止(同35条の2の3)、接続品質(同35条、35条の2の4)に係る技術基準を、メタルIP電話に対しても課することが適当ではないか。



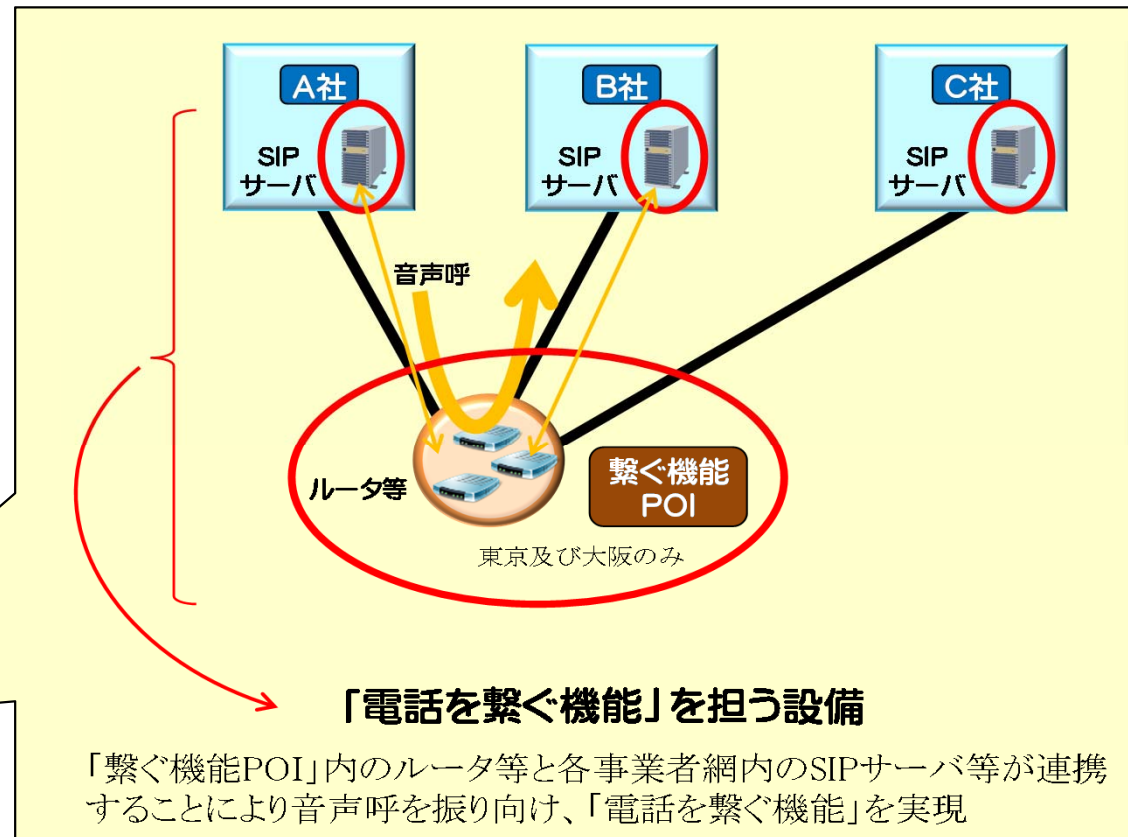
- PSTNからIP網への移行に伴い、現在事業者間相互接続を担っているPSTNに替わり、全ての固定電話事業者が相互に接続するために設置される「繋ぐ機能POI」については、以下のような考え方で検討を進めることとしてはどうか。
 - ・ 「繋ぐ機能POI」を含む「電話を繋ぐ機能」を担う各設備に対しては、その重要性に鑑み、予備機器設置や停電対策、大規模災害対策等に係る技術基準を適用し、十分な安全・信頼性を確保することが適当ではないか。



現在の事業者間相互接続形態



IP網へ移行後の事業者間相互接続形態



- PSTNからIP網への移行後における音声品質に係る技術基準の在り方については、以下のような考え方で検討を進めることとしてはどうか。
- ・ PSTNからIP網への移行後においても、0AB-J番号を利用する電話のEnd-to-Endの品質については、現在のアナログ電話及び0AB-J IP電話と同等の水準を確保することが適当ではないか。
- ・ PSTNからIP網への移行後において音声品質を技術基準として規定するためのモデル及び規定する事項については、現状の枠組みを検討の出発点として、IP網への移行に伴う変更の要否を検証することが適当ではないか。

